

事業名 **体育施設開放事業 (学校体育館土曜開放)**

[0500]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	市民スポーツ活動の充実	基本事業	スポーツ・レクリエーション施設の充実
----	--------------------	----	-------------	------	--------------------

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分 1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分 2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者
意図	学校週 5日制により注した休日を子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。 ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。
手段	学校週 5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午に市内 10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動(バドミントン・バレーボール・バスケットボール・トッジボール・その他軽スポーツ等)に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理、器具使用上等の指導・説明等のため 1校に 2名の指導員を配置している。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度予算	25年度予算	目標
対象指標1	実施校区の児童・生徒数	人	6,740	6,646	6,498	6,388	
対象指標2							
活動指標1	開放校数	校	10	10	10	10	
活動指標2	開放日数	日	221	216	250	250	
成果指標1	利用者数	人	4,890	3,439	4,800	4,800	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計 (A)		千円	1,227	1,255	1,476	1,459	0
正職員人件費 (B)		千円	1,209	1,204	1,214	1,208	0
総事業費 (A) + (B)		千円	2,436	2,459	2,690	2,667	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)	

25年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ25年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 23年度もしくは24年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 25年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性 (コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性 (成果)	向上			
	維持			
	放低下			